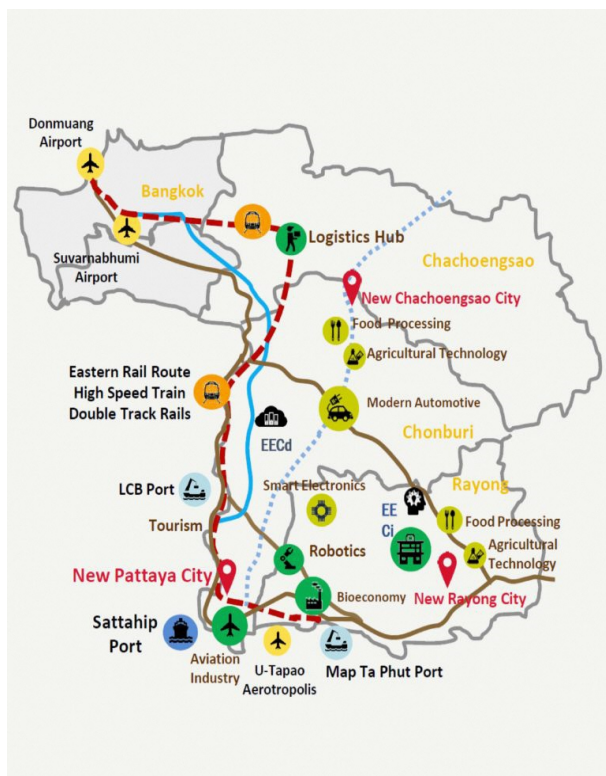


タイランド 4.0 東部経済回廊(第 2 回)

今回は、前回のレポートでお伝えしました高速鉄道の国際入札について、最初にお伝えします。今回の入札には、日本のほかに、ヨーロッパ及び中国の企業が参加するのではないかと予想されております。



第 1 期となる今回の整備では、バンコク北部に位置するドンムアン空港、バンコク東部に位置するスワナプーム空港、ラヨン県に位置するウタパオ空港を結ぶ高速鉄道を整備します。

「エアポートリンク・パヤタイ駅～スワナプーム空港区間 (29km)」は既存の鉄道を利用し、「ドンムアン空港～エアポートリンク・パヤタイ駅区間 (21km)」及び「スワナプーム空港～シラチャー～パタヤ～ウタパオ国際空港区間 (170km)」を新設します。

最高時速は 250km を予定しており、この区間を 1 時間で結びます。運賃はバンコクからウタパオ空港まで 300 バーツ程度を見込んでいます。

第 2 期は、ラヨン、チャンタブリ、カンボジア国境のトラートまでの延伸が予定されています。

続きまして、EEC (東部経済回廊) に関する投資参入の情報をお伝えします。

- ①タイの不動産開発会社であるフェリシティ社は東部ラヨンに 25 億バーツ (約 80 億円) の投資により「ホリデイイン&スイーツ・ラヨン・シティセンター」をオープンしました。同社はチョンブリ、ラヨン地区にて「レムトン」というブランドで 20 年以上前よりホテル、ショッピングモールを展開しており、今後も複合施設への投資を積極的に実施する予定としています。

- ②EEC 事務局では、官民連携により、4万人の EEC 向け人材（次世代自動車、航空など EEC 内で奨励される産業向けの人材）育成を推進しており、1年間で8億6千万バーツ（約29億円）を支出する予定としております。民間ではサイアムセメントグループ、ミシュラン、タイオイル、首都電力公団などが参加し、職業訓練学校にて産業人材の育成を図ります。
- ③中国の通信設備・機器大手ファーウェイ社（華為技術）は、1,000万米ドル（約11億2千万円）の投資を行い、EEC内にデータセンターの設置を予定しております。タイ政府や企業、個人の利用を想定したハイブリッドクラウド（パブリッククラウドとプライベートクラウドなど異なるサービスのメリットをうまく組み合わせて利用する方法）のデータセンターとする計画としております。
- ④航空機メーカーの米ボーイング社は、ウタパオ国際空港内に ASEAN(東南アジア諸国連合)の拠点となる航空訓練施設の設置を予定しております。
- ⑤航空機メーカーの欧州エアバス社は、タイ国際航空と共同出資にて航空機の保守・点検・修理（MRO）センターの他、物流、訓練施設の開設を予定しております。

以上のような投資が予定されております。日本企業からの参入情報は少なく、今後の動向については、別途レポートさせていただきます。

【岡山県タイビジネスサポートデスク】

<<日本国内デスク（株式会社アークビジネスサーチ内）>>

【所在地】：東京都千代田区神田小川町1-11-8 大竹ビル7階

【担当者】：志賀 敦（しが あつし）

<<タイ/バンコク現地デスク（ARK ENTERPRISE CO., LTD. 内）>>

【所在地】：138 Boonmitr Bldg., 3rd Floor, Rm. A2, Silom Rd., Suriyawong, Bangrak Bangkok, 10500 Thailand

【担当者】：福田 淳（ふくだ じゅん）

※デスクのご利用にあたっては、まず岡山県産業企画課マーケティング推進室
(086-226-7365)へご相談ください。